



令和7年度農業農村整備事業 ICT研修会



【講師概要】

参加費無料

日時：令和7年11月13日(木) 午後1時～午後5時まで
場所：ホテル自治会館大ホール(対面及びWEB)

(1) 講演

演題：持続可能な農業に向けた行政の取組みについて
～ICT・デジタル技術活用によるスマート農業の展開～

講師：岩見沢市企画財政部情報政策課情報化推進係長
山崎 拓也 氏



【講師紹介】

岩見沢市役所では、農業の力強い味方となる「ローカル5G」を使った取り組みを進めています。
ローカル5Gは、とても速くて安定した通信ができるので、ドローンで畑の様子を空から見たり、センサーで作物の状態をその場ですぐにチェックしたり、農業機械を遠隔で操作することも可能になります。
こうした最新技術を取り入れることで、農作業の効率アップや負担の軽減につながり、未来の農業を担う若い世代にも「やってみたい」と思える環境づくりを目指しています。

(2) 事例紹介

演題：いわみざわ地域ICT(GNSS等)農業利活用研究会の取組みについて

講師：いわみざわ地域ICT(GNSS等)農業利活用研究会会長 道下 一記 氏



【講師紹介】

いわみざわ地域ICT(GNSS等)農業利活用研究会は、岩見沢市を中心に、地域の農業におけるICT(情報通信技術)の活用を推進するために農業者によって設立された研究会です。
農業者・行政・研究機関・企業などが連携し、スマート農業技術の実証や情報共有を行うことで、生産性向上や省力化、持続可能な地域農業の実現を目指しています。
現場の課題に即したICT技術の利活用を探りながら、次世代の担い手にとって魅力ある農業環境づくりに取り組んでいます。

(3) 事例紹介

演題：農業農村整備における情報化施工と3次元データの営農への活用について

講師：PORTA-LAB株式会社 代表取締役 八戸 政人 氏



【講師紹介】

PORTA-LAB株式会社は、地域に根ざしたDX(デジタルトランスフォーメーション)パートナーとして、建設・農業分野における最先端技術を用いた課題解決を支援しています。
DXサポート事業では、現場調査・業務プロセス分析に基づく戦略立案、最適ツールの選定・導入、運用後のフォローまでをワンストップで提供。建設・農業の効率化と生産性向上を継続的に支援しています。

(4) パネルディスカッション

テーマ：スマート農業の将来性と展望について
○パネリスト

- ・岩見沢市企画財政部情報政策課
情報化推進係長 山崎 氏
- ・いわみざわ地域ICT(GNSS等)農業利活用研究会
道下 氏
- ・PORTA-LAB株式会社 代表取締役 八戸 氏

○コーディネーター：鹿児島県農地整備課長



YouTube
視聴QRコード
はコチラ!!

主催：鹿児島県農政部農地整備課
TEL 099-286-3110
Mail nouti-noukei@pref.kagoshima.lg.jp
共催：鹿児島県農業農村整備情報センター